

## 多様な経験

私は現在、外交官としてパリにある在フランス日本国大使館において働いています。日仏の地方自治体交流や仏地方自治体の制度に関する情報収集、また地方における文化交流などを担当しています。近年、日仏間の交流は益々活発になっており、日仏関係をより良くするために何をすべきかを考えながら刺激的な日々を送っています。

日本の地方自治体における国際化は時代とともに進化しており、自治体が海外の自治体や企業と直接やりとりして連携し、地域の課題解決を行う場面も増えてきています。

フランスでは、人々の文化に対する関心がとても高く、文化が生活の身近にあります。伝統的なものからポップカルチャーまで、幅広く日本文化に興味を持つ人が多く存在する当地において、文化交流を担当することは意義深いと感じています。

入省当時、地に足をつけながら担当する業務内容のダイナミックさに惹かれるとともに、制度設計を担う国や制度を運用する地方などの多様な経験を通じ、自らを人としても成長させてくれることに可能性を感じ、総務省の門を叩きました。

入省14年目となり、国や地方(長野県、仙台市)、フランスにおける経験を通して、豊富な人脈を得ながら自らの視野を広げ、課題への対応能力を高めることができていると実感しています。特に海外では、想定外の事態がよく生じますが、必然的に臨機応変な対応能力や危機管理能力が鍛えられ、これまで以上に動じずに目の前の課題へ対処できるようになっています。

総務省には、多様な経験を通じ、自らの人間力を磨く機会を得ながら、課題に対する解決策を導いて実行に移す環境が整っています。そんな可能性に満ちた総務省に関心を抱くあなたは、是非このフィールドに飛び込んでみてください。きっと自分の想像を超える豊富な経験や出会いが待っています。

## ともに夢を語ろう、叶えよう

我が国の経済・社会システムを維持するため、少子化対策としてのこども・子育て支援の強化は急務であり、国家的課題として日々取り上げられています。

他方、こども・子育て支援は、住民に寄り添い、地域の実情に応じて提供される行政サービスであり、保育所の設置・運営、児童手当・児童扶養手当の支給など、この分野において地方公共団体が果たすべき役割はとても大きいです。私も福井県民の方と接する機会が多いですが、住民目線で物事が進んでいくことを強く感じています。

我が国に暮らす人々が必要な行政サービスを楽しみ続けられるためには、このような事務の性質等に応じた国・地方の適切な役割分担や、地方公共団体の事務処理体制の整備が不可欠です。デジタル化や感染症危機などの多様な社会経済情勢の変化を見極めながら、長期的視座に立つてこうした国家の基盤を築き、支えていくことが、総務省のミッションです。我が国の将来を見据えた「青臭い」理想や夢を語るができる場面も多く、このような環境こそが総務省の魅力だと感じています。

もちろん、若輩ながら管理職という立場を預かりするプレッシャーはありますが、首長、議会、マスコミ等と近い位置で仕事ができる立場でもあるため、地方公共団体の使命や意思決定過程に対する解像度が上がり、確かな成長を実感できています。

いつの日か、このメッセージをご覧の皆様とともに仕事ができることを楽しみにしています。



外務省在フランス日本国大使館一等書記官

## 中野 賀枝子

NAKANO Kaeko

|           |                            |
|-----------|----------------------------|
| 平成 23年 4月 | 総務省採用                      |
|           | 同 自治財政局交付税課                |
| 平成 23年 8月 | 長野県総務部市町村課                 |
| 平成 24年 8月 | 総務省消防庁国民保護・防災部防災課国民保護室     |
| 平成 25年 7月 | 同 消防庁総務課                   |
| 平成 26年 4月 | 同 自治財政局地方債課                |
| 平成 27年 7月 | 同 自治財政局地方債課収益事業係長          |
| 平成 28年 6月 | 仙台市まちづくり政策局政策企画部プロジェクト推進課長 |
| 平成 30年 7月 | 復興庁統括官付参事官付参事官補佐           |
| 平成 31年 4月 | 総務省政治資金適正化委員会事務局参事官補佐      |
| 令和 2年 4月  | 同 自治行政局選挙部政治資金課政党助成室課長補佐   |
| 令和 4年 7月  | 同 自治行政局国際室参事官補佐            |
| 令和 4年12月  | 現職                         |



福井県健康福祉部こども未来課長

## 川上 進太

KAWAKAMI Shinta

|           |                        |
|-----------|------------------------|
| 平成 28年 4月 | 総務省採用                  |
|           | 同 自治行政局地域自立応援課         |
| 平成 28年 8月 | 岡山県県民生活部市町村課           |
| 平成 29年 7月 | 総務省消防庁国民保護・防災部防災課国民保護室 |
| 平成 30年 7月 | 同 自治行政局住民制度課           |
| 令和 2年 7月  | 同 自治行政局行政課主査           |
| 令和 4年 4月  | 現職                     |



日英首脳会談の会場にて

外務省在英国日本国大使館一等書記官

## 藤野 知之

FUJINO Tomoyuki

|           |                                |
|-----------|--------------------------------|
| 平成 21年 4月 | 総務省採用                          |
|           | 同 自治行政局公務員部公務員課                |
| 平成 21年 8月 | 和歌山県総務部総務管理局市町村課主事             |
| 平成 23年 4月 | 総務省行政管理局企画調整課行政手続・制度調査室        |
| 平成 24年 7月 | 同 行政管理局企画調整課調査研究第二係長           |
| 平成 24年12月 | 内閣官房日本経済再生総合事務局主査              |
| 平成 26年 7月 | 内閣官房行政改革推進本部事務局主査              |
| 平成 27年 8月 | 総務省行政管理局副管理官                   |
| 平成 28年 2月 | 同 併任 内閣官房行政改革推進本部事務局参事官補佐      |
| 平成 28年 8月 | 内閣官房内閣人事局参事官補佐(企画・総人件費担当)      |
| 令和 元年 8月  | 内閣官房内閣人事局参事官補佐〔行政組織担当〕(機構総括担当) |
| 令和 3年 7月  | 現職                             |



札幌市まちづくり政策局政策企画部政策調整課長

## 岩垂 佑佳

IWADARE Yuka

|           |                                    |
|-----------|------------------------------------|
| 平成 30年 4月 | 総務省採用                              |
|           | 同 行政管理局行政情報システム企画課                 |
| 令和 元年 7月  | 内閣官房内閣人事局企画第一係                     |
| 令和 3年 4月  | 総務省行政管理局管理官付 併任 内閣官房内閣人事局(厚生労働省担当) |
| 令和 3年 8月  | 同 行政管理局主査 併任 内閣官房内閣人事局(厚生労働省担当)    |
| 令和 4年 7月  | 同 行政管理局主査                          |
|           | 併任 内閣官房内閣人事局(消費者庁、経済産業省、環境省担当)     |
| 令和 5年 4月  | 現職                                 |

## 激動の英国で生きる総務省の力

渡英して早2年。私は、英国の外交・内政に関する情報収集・分析を担う政務班に所属し、特に英国の政治と王室を担当しています。皆さんのご記憶にも新しいと思いますが、2022年9月にエリザベス2世女王陛下が崩御し、チャールズ3世国王陛下による新たな治世が始まる歴史的瞬間に担当として立ち会ったことは、大変貴重な経験でした。

また、政治面では、現在、支持率で野党労働党が与党保守党を大きくリードしており、来年1月までに行われる総選挙で2010年以来の政権交代が起こる可能性が報じられています。私の目下の役割は、選挙結果がどうであろうとも、日英両国の政府や議会を結ぶ絆が変わらずに続くよう、英国政府や議会の要人らと幅広く意見交換を行い、また、時には日本の立場を率直に述べ、そうした交流を通じてお互いの信頼関係を深めていくことです。とりわけ、ブレグジット後のEUとの関係修復、ウクライナやガザ地区といった英国周辺での出来事が話題の中心となっている今、英国の目は東アジアから離れていきがちです。引き続き、日英間の安全保障及び経済上の戦略的協力関係を維持できるよう、危機感を持って取り組んでいます。

私はこれまで、公務員の人事制度改革、省庁改革、行政共通法制の見直し、機構・定員の配分など、国家行政の経営課題といえる、決して簡単でないテーマに取り組んできました。その過程で鍛えられた、広い視点で情報を収集・整理し、相手の話を聞きながら粘り強く議論し、解決策を見つける力は、外交の舞台でも活きていると日々実感しています。

国家全体、更にはよりグローバルな視点を持って活躍できる機会に渴望する皆さん。ぜひ総務省の門を叩いてください。総務省にはそれがあります。より良い未来を共に追求していきましょう。

## 札幌市のまちづくりを考える

私が赴任している札幌市は、人口約197万人を抱える大都市ですが、順調に増加してきた人口も、2021年から3年連続で減少するなど人口減少局面を迎えているほか、物事が目まぐるしく変化する時代にあって、今後も札幌市を取り巻く社会経済情勢は大きく揺れ動いていくが見込まれます。

私は2023年4月に着任し、主に札幌市のまちづくりをどのように進めていくかを日々議論しています。例えば、2023年12月に、札幌市がこの5年間で行っていく政策的事業をとりまとめた計画(アクションプラン)を策定しており、今後はその進捗管理を的確に行っていく必要があります。庁内での意思統一をはかりながら、市として様々な懸案事項にどう取り組んでいくかを議論・調整することは非常に難しいですが、何が札幌市・市民のためになるかに思いを巡らせつつ、議論の結果が市民生活へ直結するという重みと、仕事へのやりがいを感じています。

赴任前までは、国家公務員の人事行政や国の機構・定員の査定等に携わってききましたが、自治体と直接関わる仕事はしたことがありませんでした。日常生活に身近な行政サービスを提供する市役所は、市民からの距離も近く、こうした自治体の立場から国の動きを見られることは私自身の視野の広がりにもつながっており、今後働くうえで大きな財産になると感じています。

フィールドが広く、様々な機会を与えてくれる総務省で、あなたもぜひ一緒に働いてみませんか。